



平成28年度公共職業安定所のマッチング機能に関する業務の総合評価の公表について

外部労働市場全体のマッチング機能の強化のためには、国、地方自治体及び民間の需給調整機関が、それぞれの役割・機能に応じた連携を強化していく必要があるとともに、国が直接運営する無料の職業紹介機関として雇用の最後のセーフティ・ネットを担い、雇用対策の基軸をなす公共職業安定所は、率先してそのマッチング機能の強化を図ることが重要である。

このため、熊本労働局においては、管内各公共職業安定所の更なるマッチング機能の強化を図るため、(*)PDCAサイクルによる目標管理の拡充及び業務改善を進めていくための総合評価を実施する。

また、これらの取組について、利用者である国民への透明性を高め、利用者の公共職業安定所に対する信頼性の向上を図る観点から、その実施状況を公表することとする。

*PDCAサイクル…Plan(計画)→Do(実施)→Check(検証)→Act(見直し)を繰り返すことによって業務を継続的に改善する取組

1 取組の実施状況

各公共職業安定所の取組の実施状況は別紙1-1～9のとおり。

2 実施公共職業安定所

熊本労働局管内各公共職業安定所において実施

ただし、上益城出張所については、熊本公共職業安定所に含む。

ハローワーク熊本 就職支援業務報告（平成28年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

- 当所では、就職件数及び充足数の目標達成を最重要と考え、職業紹介の基礎となる求人票の分かりやすい記載方法に係る事業所指導に重点を置くとともに、職業相談窓口におけるマッチング機能を強化するため、本省から提供された「平成27年度職業安定課長ヒアリングの振り返り」を活用し、職業相談窓口におけるマッチングの土台となる基本業務や展開等について研修を実施する等により、適格紹介を念頭に目標達成に向けて取り組んだ。
- 熊本市と熊本労働局の雇用対策連携協定に基づき、地方自治体との連携を深めるため、U I J ターン希望者に係るサポートデスクへの協力及び熊本市男女共同参画センター「はあもにい」利用者の就職支援に係る出張相談などを実施し、地域の雇用促進を図っている。
- 看護師・介護支援専門員・保育士等の医療・福祉関係業種の人手不足に対応するため、関係機関との連携により、連絡会議、就職支援セミナー及びミニ面接会等を実施し、当該職種に係る求人充足に努めている。
- マッチング機能強化の一つの手法として、今年度下半期から新たに求職者担当者制を実施し、求職者に対し正社員求人への応募を積極的にあっ旋し、常用就職の強化に取り組んだ。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- 正社員求人の早期充足を図る観点から、正社員求人を受理した翌日に職業紹介部門（出先機関を含む。）の次長又は統括職業指導官に対して当該正社員求人票の写しを配付し、紹介担当職員等に回覧することにより、正社員求人の就職件数及び充足件数をアップさせるとともに、マッチング機能の総合評価に係る職員・相談員の意識向上を図った。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

- フロアナビゲーター等による窓口誘導への取組を行っているが、それを良いサービスと感じてもらえる、一方で、声を掛けられることを不快に感じられるケースもある。
このため、フロアナビゲーターを表す腕章を使用するほか、一律に誘導するのではなく、よりコミュニケーションを図ったうえで行う必要がある。
- 求人者から、「応募者が面接時に積極性が見受けられない」との意見があることから、職業相談時の求職者に対する助言・指導徹底し、就職件数・充足数のアップにつなげる。

- 長年人手不足といわれている医療・介護・福祉をはじめ多くの分野で人材不足問題が深刻化し、事業運営そのものに影響を及ぼし兼ねない。このため、当該職種を希望する求職者の掘り起しや職域拡大のため当該業種に関する的確な情報提供の推進を図る。

(4) その他業務運営についての分析等

- 雇用保険の受給手続きに関して、事業主の都合による離職など一定の離職理由である受給手続きの場合は、職業相談第1部門において、職業相談及び受給資格決定を行うワンストップサービスを実施していたが、平成28年度は4月の熊本地震に伴い雇用保険の特例措置に関する説明を求められるケースが増え、本来の職業相談が希薄にならざるを得ない状況が見受けられた。秋口以降、このような状況は改善し、本来の職業相談を柱とした業務を進めることができた。

2 特記事項

- 平成28年度の業務においては、年度当初の4月から熊本地震という大規模災害が職業紹介業務に及ぼした影響は大きかった。多くの事業所が一時的又はある程度長期的に事業活動の中断や停止を余儀なくされ、求人は出ているものの、選考を行うところではない時期もあった。また被災された求職者も多く個人差はあるものの、本来の就職活動そのものに集中できる状態に戻るまである程度時間を要する求職者も多くみられた。
- 震災からの復旧・復興が進展するにつれ、求人数の増加が加速し、多くの業種で人手不足状態となり、以前にも増して未充足求人対策が問題化してきた。(平成29年度は、特に未充足求人が顕著であった福祉分野に建設、警備及び運輸分野を加え特別な対応を図る「人材確保対策コーナー」を全国12カ所の公共職業安定所の1所として当所内に当該コーナーを設置し客観的な支援を実施することになっている。)

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	求職者に対 する紹介率	障害者の 就職件数	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 件数	ハローワー クの職業紹 介により正 規雇用に結 びついたフリ ーター等	公的職業訓 練の修了3 カ月後の就 職件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者性 による就職支 援を受けた重 点支援対象者 の就職件数	正社員 求人数
実績	9,767	10,777	2,997	97.6%	98.5%	27.1%	18.6%	744	3,299	1,640	919	94.8%	31,926
目標	10,625	11,995	3,929	90.0%	90.0%	20.8%	20.8%	805	2,674	1,614	850	88.5%	25,841
目標達成率	91.9%	89.8%	76.3%	108.4%	109.4%	130.3%	89.4%	92.4%	123.4%	101.6%	108.1%	107.1%	123.5%
(参考)過去3年度平均	11,327	12,661	3,793										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク八代 就職支援業務報告（平成28年度）

1 所長による分析（業務運営の総括など）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

「求職担当者制」「求人担当者制」の取組を重点課題とし、担当者制による丁寧かつ一貫した就職支援による一般求職者・雇用保険受給者の就職促進に努めた。結果として、一般求職者のうち担当者制による支援対象者数647名に対し、就職者数386名（就職率59.7%）となるなど、一定目標に沿った成果に結び付けることができた。また、雇用保険受給者についても担当者制による支援に努め、支援対象者261名、就職者数162名（就職率62.1%）と、一定の成果に至っている。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人者支援部門・職業紹介部門との連携会議（週1回開催）を行うとともに、新たに求人担当制によりマッチングの推進に努めた。

（3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

新規求職者が減少（前年度比▲6.5%減）する中、就職件数（同▲5.1%減）、充足件数（同▲4.7%減）も減少した。求職・求人担当制によりきめ細やかな相談等により紹介成功率については、39.9%（前年度比3.1ポイントアップ）となり、的確紹介という面では評価できる面はあるものの、一方で、紹介件数では前年度比で▲12.5%と大きく減少した。有効求人倍率については、全体の業種・産業で高い水準で推移しており、人手不足の状況が強まっているため、求職者の窓口への誘導や掘り起しが今後の課題としてあげられる。

（4）その他業務運営についての分析等

求職者減、求人数増という傾向が強まっており、求職者の掘り起しや事業所の人手不足に対応するため、地域の住民や関係機関へのアピール、ミニ面接会の実施、雇用管理指導等の取組の強化が必要であると考えている。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者の就 職の件数	学卒JSによる正 社員就職件数	正規雇用に関 連したフリーター の就職の件数	正社員求人数
実績	2,992	2,836	792	95.0%	92.2%	39.9%	175	147	203	5,564
目標	3,229	3,037	760	90.0%	90.0%	33.6%	201	170	295	4,382
目標達成率	92.7%	93.4%	104.2%	105.6%	102.4%	118.8%	87.1%	86.5%	68.8%	127.0%
(参考)過去3年度平均	3,340	3,123	754							

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク菊池 就職支援業務報告（平成28年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

就職件数4,348件の目標達成を最重要と位置付け、求職者担当制による求職者支援の実施及び正社員求人の確保等を中心に取り組んだ。

求職者担当者制については、緊要度等に即した対象者の選定及び継続的な支援に努め、就職件数986件(対象者の78.3%)と、一定の成果に結びついた。

また、正社員求人については、事業所訪問時及び窓口での勧奨等に努めた結果、7,992人(対前年比9.5%増)確保できたものの、一方、正社員就職数については、求職者の減少等に相まって1,788人(対前年比11.5%減)に留まった。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

職種別認定日を設定及び認定時間の細分化等を行い、職業相談の充実及び求職者担当制による支援の強化を図った。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

求職者担当者制による個別支援を更なる推進に資する支援対象者数及び就職者数の目標値に上積みを図る。

また、求職者が減少傾向にある中、真に支援が必要な求職者に対する電話等により来所の誘導及び個別支援の強化に努めるとともに、更に求職者ニーズに応じた正社員求人の確保をはじめ、わかりやすい求人票の作成及び画像情報の収集等によるマッチングの推進を図る。

（4）その他業務運営についての分析等

求職者が減少傾向にある中、年度当初に発生した熊本地震の影響も一因として、全ての主要指標をはじめ、正社員及び障害者の就職件数等所重点指標の一部についても目標値の達成に至っていない。

特に、充足件数については、前年度に引き続き対前年度実績を下回るとともに、目標値を下回る状況にある。

当所においては製造業の占める割合が大きく、それに伴う派遣求人数は増加傾向（前年度比3.3%増）にあり、全新規求人のうち12.2%を占めているのに対し、充足数は全充足数の2.6%と他の産業と比較しても低調となっている。

このことを踏まえ、求職者ニーズに沿った正社員求人及び多様な職種の求人の確保を図るとともに、未充足求人のフォローアップをはじめ、求人担当者制による充足支援を強化するなど、求人者支援の充実を図る必要がある。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	求人紹介率	求職紹介率	障害者 就職件数	公的職業訓練 修了3ヶ月後 の就職件数	マザーズハローワ ーク事業における 重点対象者就職率	正社員 就職件数
実績	3,729	3,612	1,249	98.5%	97.9%	36.1%	18.1%	17.7%	334	334	89.8%	1,788
目標	4,348	4,199	1,475	90.0%	90.0%	29.4%	22.7%	20.5%	361	300	88.5%	2,057
目標達成率	85.81%	86.0%	84.7%	109.4%	108.8%	122.8%	80.0%	86.3%	92.5%	111.3%	101.1%	86.9%
(参考)過去3年度平均	4,231	4,220	1,390									

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク玉名 就職支援業務報告（平成28年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

・職業紹介部門の窓口担当全員による「求職者担当者制」の実施

各窓口担当者が常時5名の求職者（2名は雇用保険受給者）を担当し、うち月3名の就職の目標を掲げて実施した。

具体的な取組みとして、求人情報提供（DM送付）、就職支援セミナーの受講勧奨及び応募書類の添削指導・模擬面接を実施した。〔平成28年度：就職支援セミナーの受講者292人、応募書類の添削指導180件、模擬面接26人、求人情報提供（DM）1,080件〕

・雇用保険受給者への相談窓口の支援・誘導強化及び早期再就職の支援強化の実施

①雇用保険受給者の失業認定日（初回認定日、2回目の認定日、所定給付日数の残日数2/3にあたる認定日、最終認定日（支給終了））における相談窓口への利用勧奨・誘導を行い、全員の職業相談を実施した。

②雇用保険受給者（重点支援対象者＝求職者担当者制による対象者）の早期再就職の支援強化を図るため、毎回認定日における職業相談を実施した。

「正社員求人又は人手不足分野等の求人」を対象にした就職面接会及びミニ面接会（管理選考方式）を実施

就職面接会（2回）、ミニ面接会（9回） 計11回実施した。（就職者数27人）

就職面接会及びミニ面接会の開催においては、事業主からの問合せも多く、事業主又は求職者の双方から好評を得ている。

・新卒者の管内企業への就職促進のための「地場企業説明会」の実施

管内（県内）企業への就職を促進するため、企業の採用担当者が高校の生徒へ直接企業説明ができる「地場企業説明会」を7月に実施した。この取組は、新規高卒者の県内就職率70%（平成31年度）を目指す熊本県の目標と合致しており、地元企業の認知度を向上させるとともに、生徒の地元企業への理解促進を図ることを、また、就職後の早期離職防止につなげることを目的に行った。参加した生徒、学校、企業には大変好評で、来年度の開催も検討している。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

・雇用保険受給者の早期再就職促進を図るため、初回認定日及び残日数2/3前の認定日における職業相談に加え、第2回認定日、支給終了前認定日における職業相談を追加して取り組んだ。

・求人充足サービスの促進を図るため、求人充足フォローアップ会議に加え、求人担当統括官と職業紹介担当統括官による求人充足検討協議を毎朝開催することとした。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

- ・雇用保険受給者の就職意欲向上のための啓発、担当者制による個別支援の強化、求人充足サービス向上のための求人充足会議の見直し等について取り組むこととしている。
- ・上記の取り組みを推進するため職員等への研修を実施する。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・雇用保険受給者の早期再就職件数の目標進捗率が県内ハローワークの中で2年連続最下位であることなどを踏まえ、取組みの検証、分析を実施し効果的な対策につなげている。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受給者 等の就職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援による 正社員就職件数	公的職業訓練の 修了3ヶ月後の 就職件数	正社員求人数
実績	3,087	2,817	637	98.1%	95.1%	38.5%	111	202	275	5,333
目標	3,264	2,685	859	90.0%	90.0%	32.0%	42	170	140	4,635
目標達成率	94.6%	104.9%	74.2%	109.0%	105.7%	120.3%	264.3%	118.8%	196.4%	115.1%
(参考)過去3年度平均	3,567	3,197	867							

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク天草 就職支援業務報告（平成28年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

主要指標の目標達成及び所全体で取り組める課題を選択し、重点的に取り組むこととし、①適格紹介のさらなる推進、②緊要度のチェックと求職者ニーズを踏まえた就職支援、③雇用保険受給者に対する就職支援の強化、④求人充足に主眼を置いた求人者サービスの実施などに力を入れて取り組んだ。

特に、雇用保険受給者の早期再就職支援については、一担当者あたり個別支援対象者3名以上を選定し、担当者制による集中的な支援を展開した。

また、求人充足サービスの取り組みについては、年度途中より求人充足会議を見直し、正社員求人に特化し、求人部門、紹介部門職員による事業所訪問による求人者ニーズの把握を実施しつつ早期あっせんに取り組む形式に衣替えした。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

平成28年度においては、これまで低調であった「介護就職デイにおける面接会」について、11月を集中取組月間と設定、ミニ面接会方式に変更し、毎週水曜日に開催し例年以上の参加者、就職件数の成果が生じた。

雇用保険受給者の早期再就職の促進を図るため、職業相談部門におけるワンストップ対応を廃止し、受給資格決定時から集中的な職業相談に取り組むこととした。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

これまで、充足サービスの取り組みの一環として庁舎玄関ホールにおいて、正社員求人コーナーを設置し、一定期間正社員求人の掲示を行ってきたが、さらなる有効活用をめざし検討を進めることとしている。

（4）その他業務運営についての分析等

新規求職者数の減少以上に、紹介件数、就職件数の減少の割合が大きいことから、分析を行った結果、新規求職者の高年齢化が見られ、35歳未満の若年層の減少による紹介件数の減少、55歳以上の高年齢層の増加による紹介件数の減少（応募をためらう傾向が推察される）が背景にあると分析しており、今後の対策が課題と考える。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	ハローワークの職 業紹介により正規 雇用結びついた フリーター等	正社員求人数	正社員就職件数
実績	2,140	1,853	534	90.0%	97.3%	47.1%	511	2,898	1,016
目標	2,227	1,952	596	90.0%	90.0%	41.0%	396	2,516	945
目標達成率	96.1%	94.9%	89.6%	100.0%	108.1%	114.9%	129.0%	115.2%	107.5%
(参考)過去3年度平均	2,285	2,005	573						

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク球磨 就職支援業務報告（平成28年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

主要指標である就職件数、充足件数、受給者の早期再就職件数の目標達成を最重要と考え、求職担当制、求人担当制、充足会議の定期開催、認定日の分散化による全員相談・相談内容の充実、応募前職場見学の実施、ミニ面接会の定期開催、応募前職場見学の実施など所一丸となって取り組んだ。しかし、熊本地震の影響等もあり、求人数増、求職者の大幅減少という環境の下、主要指標は厳しい結果となった。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

7月及び11月に全職員・相談員から業務改善の所長ヒアリングを実施、提案を受けたほとんどの事項について改善を図るとともに、担当者別職業紹介状況や相談内容をデータ化して個別指導した。（1）の重点的取組み事項以外の具体策として、初回講習の見直し、認定日の分散化による相談の充実、求職活動時の相談の見直し、相談時のアンケートの活用、窓口の空席対策（バックヤード職員の活用）など改善を図った。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

求職者の減少傾向が顕著な中、来所者に対する付加価値の高い相談が必要なこと、また、ハローワークの求心力を高める必要があると考えられる。その課題改善のためには、職員一人一人が求職者・求人者のニーズを的確に捉え対処する能力が求められる。求職・求人等の個別担当制をとっても担当者によって習熟度にばらつきがあり、十分な相談となっていないケースも散見され、個々の相談内容の充実や技法の習得などスキルアップを図るため研修充実が必要である。また、ハローワークの求心力や地域における存在感を高めるためには、地域の課題を的確に捉えて自治体や経済団体と連携した取組が重要である。

（4）その他業務運営についての分析等

ミニ面接会については、就職件数などアウトカム指標にとらわれず、求人者、求職者のニーズに応えるという成果や職員の資質向上にもつながるということを考慮して今後も取り組んでいく必要がある。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	学卒 JS による正 社員就職件数	正社員求人数	介護・看護・保 育分野におけ る就職件数
実績	1,930	1,745	539	100.0%	100.0%	46.0%	137	3,369	381
目標	1,977	1,834	557	90.0%	90.0%	37.9%	140	2,785	400
目標達成率	97.6%	95.1%	96.8%	111.1%	111.1%	121.4%	97.9%	121.0%	95.3%
(参考)過去3年度平均	2,126	1,852	627						

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク宇城 就職支援業務報告（平成28年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、所重点項目においては「障害者の就職件数」の目標達成を最重要と考え、重点的に進めることにした。地震の影響で動きが鈍い時期もあったが精神障害者雇用トータルサポーターを活用し、目標には3名及ばなかったものの、198名を採用に結び付けることができた。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、求人情報検索の方法がわからない、求人申込書の記入についてアドバイスが欲しい等の要望があり、「改善要望と対応方針について」を所内に掲示した。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

福祉のミニ面接会2回を開催したが、応募者が皆無であり、福祉機関による説明会を実施しても参加者が少ない。今後も関係機関と連携しながら開催方法も含め効果ある面接会を目指す。

（4）その他業務運営についての分析等

平成28年度は震災に係る建設関係の求人が急増し、医療・福祉関係の新規求人も増加している。このため、正社員求人は増加したものの希望者が少なくミスマッチが生じている。今後とも職業訓練の受講を勧奨し、受講後の就職支援を積極的に行う。

2 特記事項

当所では、新規学卒者の就職が管外・県外が多く、地元への就職が少ないことから、問題点を協議するため、自治体、商工会、管内高等学校等と意見交換会を開催した。今後の開催についての要望もあり検討している。

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給 者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者の 就職件数	学卒ジョブサ ポーターの支 援による正社 員就職数	正社員求人数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数
実績	2,425	2,123	624	96.1%	93.9%	38.5%	198	186	6,070	500
目標	2,756	2,375	783	90.0%	90.0%	30.5%	201	180	4,769	643
目標達成率	88.0%	89.4%	79.7%	106.7%	104.3%	126.2%	98.5%	103.3%	127.3%	77.8%
(参考)過去3年度平均	2,970	2,563	823							

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク阿蘇 就職支援業務報告（平成28年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

景気が好調を維持し年々求職者が減少していく状況下において、目標達成が厳しいと考えられる就職件数及び人手不足の状況にある事業所への最大のサービスとなる充足件数の目標達成を重点事項としていたが、熊本地震の発生により被災求職者への雇用保険失業給付の特例措置による雇用保険受給者が増大したことから、本来の一般求職者と被災求職者への対応を円滑に行うため、求職者の就職に対する要望を的確に把握することにより就職件数の目標達成に重点を転換した。

震災の影響で新規求職者が前年度比8.9%増加したことから、就職件数及び充足件数も目標を達成することができた。

また、人手不足事業所への対応として、毎週火曜日・水曜日の2回、認定日に合わせて、医療・介護福祉に関する個別の事業所説明会を開催しており、事業所からは求職者に対して直接アプローチをする機会が継続的にあることで好評を得ている。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

待ち時間対策の一環として、事業所の画像情報を求人検索端末で閲覧できることに加え、紙媒体としてファイリングすることにより自由に求職者が管内事業所の情報を視覚的に捉えることができることとした。

また、求人検索を行っている求職者に対して、積極的に窓口を利用するよう随時声かけをすることにより求職者へのサービスを向上させるとともに、能動的マッチングを強化することとした。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

求人者サービスを向上させる取組として、現在実施している事業所の個別説明会について、他の業種にも拡大することを計画している。例えば、新規求人を提出した事業所に対して説明会参加希望の有無を把握し、当所において説明会開催が求人充足件数アップにつながる可能性が高い場合は積極的に開催を呼びかけるなどの取組を考えている。

求職者に対しては、職業相談時にバランスシート等の労働市場情報を積極的に提供・活用することにより、求職者の異業種への職域拡大を図り、就職件数アップとなるよう取組の強化を図る。

（4）その他業務運営についての分析等

阿蘇地域の主要産業であるホテル・宿泊業においては従来から人手不足であったが、熊本地震による被害のため休業等を余儀なくされた

ため、営業を再開した後に従業員が他の事業所へ転職したこと等もあり人手不足がより一層深刻化している。このため、現在取り組んでいる宿泊業専用求人の発行に加え、宿泊業事業主との会議等を通じ要望を把握するとともに求人要件緩和等の指導に取り組み、求人が多い宿泊業の充足件数をアップすることにより、全体の目標達成を図ることとする

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の 就職件数	正社員 求人数
実績	946	781	301	100.0%	97.8%	46.9%	16.8%	16.4%	50	66	1,890
目標	873	731	276	90.0%	90.0%	40.7%	17.5%	18.4%	42	61	1,749
目標達成率	108.4%	106.8%	104.3%	111.1%	108.7%	115.2%	96.0%	89.1%	119.0%	108.2%	108.1%
(参考)過去3年度平均	958	834	276								

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク水俣 就職支援業務報告（平成28年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、「求職担当者制」による求人・求職のマッチングにより求職者への求人情報の提供、来所勧奨相談を中心に就職促進に取り組んだ。

また、求人票の記載内容が求職者にとって判り易い内容となるよう職員全員による回覧チェックを行い、求人票記載内容の充実に努めた。求職担当者制においては、支援対象者225名中96名が就職となった。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人事業所の職場環境等が求人票からは確認できず、求人への応募を躊躇される求職者もおられることから、応募前に職場見学を受け入れていただける事業所を登録してもらい、応募前職場見学を実施した。

雇用保険受給者の認定日に全員相談を実施しているが、認定後職業相談までの待ち時間を有効に活用していただくため、受理後間もない求人を「週間求人情報」として一覧で提供することにより、求人内容の確認などの活発な職業相談を図った。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

新規求職者が対前年度比で約1割減少したこともあり、就職件数・充足数とも同様に減少し年度目標を達成できなかったことから、次の取り組みを行う。

求職担当者制における、マッチング力の向上、求職者ニーズの的確な把握に努める。

毎月開催される「就職支援セミナー」に参加した求職者に対し、セミナー終了後、適合すると思われる求人を選定したうえで職業相談を実施する。

求人充足会議において選定した求人へのフォローアップを図る。

（4）その他業務運営についての分析等

求人の受理状況として、産業別にみると「医療・福祉」が全体の36.6%を占めており、また就職件数においても「医療・福祉」の占める割合が34.5%となっている。全国同様「福祉」においては人手不足の状況が続いており、新規高等学校卒業者を対象とした求人においても「医療・福祉」の求人が約半数を占める状況である。

「医療・福祉」の事業所においては、応募前職場見学の受入に積極的であることから、職業相談時の当該制度の説明、活用によるマッチングを図りたい。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の 就職件数	正社員就 職件数
実績	961	874	219	96.6%	98.2%	46.9%	46	45	378
目標	1,155	1,056	221	90.0%	90.0%	42.7%	42	77	396
目標達成率	83.2%	82.8%	99.1%	107.3%	109.1%	109.8%	109.5%	58.4%	95.5%
(参考)過去3年度平均	1,102	1,034	257						

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率